

には、リンクがあります。 は、WAMNETの事業者情報にリンクします。

事業所名	グループホーム なでしこ
日付	平成16年11月9日
評価機関名	社会福祉法人 岡山県社会福祉協議会
評価調査員	病院（老人病棟）での看護業務歴 18年 特別養護老人ホームでの痴呆性高齢者介護歴 4年
自主評価結果を見る（事業所の自主評価結果にリンクします）	
評価項目の内容を見る（岡山県の定めた評価項目へリンクします）	
事業者のコメントを見る （評価結果に対する事業者の改善状況についてコメントがあります！）	

外部評価の結果

講評
全体を通して（特に良いと思われる点など）
<ul style="list-style-type: none"> ・住宅地に位置していますが、山や海にも近く自然環境に恵まれており、地域の人々とふれあいが生活できる環境です。 ・県道に面していますが、屋内には車の騒音も聞こえず、静かな住空間が提供されています。 ・バリアフリー対応で、随所に危険防止の心配りがなされています。 ・木目調の落ち着いた雰囲気、居室内は入居者の好みに配置されています。 ・母体施設が病院のため、医療面で迅速な対応が可能です。 ・1週間の仮入居制度があり、入居の選択が可能です。
特に改善の余地があると思われる点
<ul style="list-style-type: none"> ・ケアプラン作成時の入居者や家族の意見の取り上げと、作成後の提示、同意確認の徹底が必要ではないでしょうか。 ・入居者が楽しんだり活動できるような、建物周辺のスペースの有効利用があればさらに良いのではないのでしょうか。 ・家族に入居者の暮らし振りや、日常の様子を定期的に伝えるための情報提供方法の工夫が必要ではないでしょうか。

運営理念

番号	項目	できている	要改善
1	理念の具体化、実現及び共有		
記述項目	グループホームとしてめざしているものは何か ・理念として、 「ゆっくり」 ゆったりとしたスペースで快適 「一緒に」 いつでもスタッフと一緒に散歩、買い物ができます 「楽しく」 お一人お一人が大切にされ家庭的 「笑顔で」 いつも心のこもった気持ちもち 「いつでも」 夜もスタッフがお守りします 「安心」 病院が近くすぐ対応 を掲げ、スローのやさしさを心がけた、温かいグループホーム作りをめざしている。 ・理念について、見やすい位置に手書きで大きく掲示されることにより、職員による確認はできていますが、さらに職員に理解及び浸透させ、日常のサービスに具体化させていくためにも、業務に結びつくような明確な表現をなさるとよいのではないのでしょうか。		

生活空間づくり

番号	項目	できている	要改善
2	家庭的な共用空間づくり		
3	入居者一人ひとりに合わせた居室の環境づくり		
4	建物の外周や空間の活用		
5	場所間違い等の防止策		
記述項目	入居者が落ち着いて生活できるような場づくりとして取り組んでいるものは何か ・ゆっくりと隣に座り話し相手となり、同じ時間を過ごすことで、寂しさや不安を取り除く配慮をしています。さらにより良いサービスを提供するために、入居者との時間をゆっくりと取れる工夫があれば良いのではないのでしょうか。 ・レクリエーションにより、生活にメリハリをつけるよう心がけています。		

ケアサービス（つづき）

番号	項目	できている	要改善
17	排泄パターンに応じた個別の排泄支援		
18	排泄時の不安や羞恥心等への配慮		
19	入居者一人ひとりの入浴可否の見極めと希望にあわせた入浴支援		
20	プライドを大切にされた整容の支援		
21	安眠の支援		
22	金銭管理と買い物の支援		
23	痴呆の人の受診に理解と配慮のある医療機関、入院受け入れ医療機関の確保		
24	身体機能の維持		
25	トラブルへの対応		
26	口腔内の清潔保持		
27	身体状態の変化や異常の早期発見・対応		
28	服薬の支援		
29	ホームに閉じこもらない生活の支援		
30	家族の訪問支援		
記述項目	一人ひとりの力と経験の尊重やプライバシー保護のため取り組んでいるものは何か ・入居者のこれまでの生活歴を尊重し、特技や出来る事があればやっていただく様に支援しています。 ・入浴はスタッフが一人ひとりに対応しており、入り口には長いのれんが掛けられ、ドアを開けた時に外から見えないよう、プライバシーの保護に心掛けています。		

ケアサービス

番号	項目	できている	要改善
6	介護計画への入居者・家族の意見の反映		
7	個別の記録		
8	確実な申し送り・情報伝達		
9	チームケアのための会議		
10	入居者一人ひとりの尊重		
11	職員の穏やかな態度と入居者が感情表現できる働きかけ		
12	入居者のベースの尊重		
13	入居者の自己決定や希望の表出への支援		
14	一人でできることへの配慮		
15	入居者一人ひとりにあわせた調理方法・盛り付けの工夫		
16	食事を楽しむことのできる支援		

運営体制

番号	項目	できている	要改善
31	責任者の協働と職員の意見の反映		
32	家族の意見や要望を引き出す働きかけ		
33	家族への日常の様子に関する情報提供		
34	地域との連携と交流促進		
35	ホーム機能の地域への還元		
記述項目	サービスの質の向上に向け、日頃から、また、問題発生を契機として、努力しているものは何か。 ・事業所では、理念として「スローのやさしさ」を掲げており、常に入居者のベースに合わせた支援を心がけています。 ・事故発生時は、全体の問題として検討改善に努めており、再発防止に向けてスタッフの意志統一をはかっています。		